

38期生入会后説明会報告と新入会者状況

総務委員会広報

「38期生入会后説明会」

区会説明会(1月24日(金)に実施)で入会確認書を提出いただいた方を対象に、入会后説明会を3月15日(土)11時から南区社会福祉協議会研修室で実施しました。

参加者は38期生3名とさみしい状況でしたが、これは説明会の案内連絡が遅れたことで、38期生の日程の都合がつかなかったことが考えられました。

説明会での配布資料は「こなみ会会則」「こなみ会役員担当と役割」「こなみ会愛護会・同好会紹介」「令和7年度こなみ会年間計画」などでした。説明役は会長以下、総務・行事・社会奉仕の委員長が担当しました。説明後にアンケート(参加したい委員会、同好会などを選択)と自己紹介シートの提出をお願いしました。

十分な質疑応答の時間が取れませんでした。4月から始まる定例会議などで、機会を見つけて説明を継続していく必要性を感じました。

又、欠席された方々には、配布資料を郵送してアンケートの提出をお願いしました。

この方々にも定例会議などで、丁寧な説明を心掛けていきたいと思えます。

「新入会者状況」

入会后説明会終了後、電話でのフォローと年会費の納入状況により、新入会者が確定しました。38期生は11名(男性3名、女性8名)となり、入会率は68.8%(令和6年度は56.3%)と昨年度より上昇しました。16区全体での入会率は、速報値(3月18日現在)で47.6%と昨年度の39.3%を上回っており、嬉しい結果となっています。

こなみ会は昨年引き続き、入会率は全区のトップクラスを確保でき、現役学生へのこなみ会だよりの配布、ホームページの紹介など、地道な活動が実ったと思います。更に学園側も卒業後は、「同窓会組織となる各区の鯨城会に是非入会を」と後押ししてくれたこともあったかと思えます。

更に、こなみ会へ34期生1名、37期生1名が、4月から入会したいとの希望が舞い込み、嬉しい誤算となりました。

このことで、令和7年度の新入会者は13名となり、前途が明るいスタートとなり、こなみ会の更なる活性化が期待されます。



説明役員(左から会長・総務・行事・社会奉仕)



参加者(38期3名 34期・37期各1名)